

横浜市会議員 望月こうとくの市政レポート

みんなの声の広場 第24号

平成29年4月5日発行

http://www.khotoku.net email : info@khotoku.net tel&fax : 045 - 532 - 9089

平成29年第1回定例会 2月1日（水）－3月24日（金）

震災対策、災害時医療の充実を求める！

平成29年度予算案が、約2カ月間にわたって開催された平成29年第1回定例会で、審査・議決され3月24日に成立しました。

本市年間予算額は、一般会計総額1兆6千5百億円弱、特別会計（国民健康保険事業など）、公営企業会計（水道事業や地下鉄事業など）を合わせると約3兆5千7百億円強の予算となります。市民の皆さまの生活に直結する市予算を決める大切な定例会でしたが、私は、建築局と医療局・病院経営本部の事業や予算の審査に関して当局と質疑を行いました。以下に、そのご報告をします。

TOPIC 1 災害拠点病院の耐震性強化が急務。

東日本大震災を受け改正された耐震改修促進法によって、昭和56年5月以前に工事着手した不特定多数が利用する一定規模の建築物（病院、ホテル、商業施設等）に耐震診断と報告が義務付けられました。その結果は3月17日、県下一斉に自治体によって公表されました〔公表内容の詳細は、建築局HPなどでご覧頂けます〕。

震度6強以上の地震で倒壊や崩壊の可能性が高い建築物には、市内13カ所ある災害拠点病院の一つが含まれています

〔都筑区内にある昭和大学横浜市北部病院は災害拠点病院の一つですが、この建築物ではありません。当該の拠点病院は、他区に所在します〕。

発災時に重症者を受け入れ医療救護活動の中心を担う拠点病院の一つに、耐震性に不安が残る施設があるとは、論外です。建て替えなのか耐震補強なのか、その他なのか、いずれにせよ早急に本市として対応しなければいけません。

実は、上述の公表に先立ち、私は、昨年の熊本地震を受けて本市の震災対策の課題を総ざらいする中で、この問題を把握し平成28年第2回定例会本会議で質疑を行っています〔みんなの声の広場第21号をご参照下さい〕。そして、それ以来状況をチェックしていましたが、改善対応を急がせなければいけないと考え、建築局予算審査の際に改めて質疑を行いました。（2頁目に続く）



〔平成29年3月1日建築局予算審査にて〕

今後のことを申し述べます。この拠点病院は、民間施設です。建て替えや耐震化への対応責任は、まずは事業者にあります。他方で、市民の命に関わる重大な機能を担っている病院ですので、本市は、事業者と協議した上で、本市独自の上乗せ補助金交付などを実施してでも、耐震性の強化を促進させるべきと考えます。改善が少しでも速く進むよう、議員として状況をチェックし、当局に適切な対応を求めています。

建築局の予算審査では、災害拠点病院の耐震性確保の問題以外に、次のことも質疑を行いました。
①予算枠が生かされていない防災ベッドや耐震シェルターの設置事業、②限界マンションや限界団地の問題を発生させないための、分譲型大規模集合住宅や市営住宅に関する本市の今後の取り組み、③宅地造成等規制法などの法令違反建築物への厳格な対応の必要性、④民間建築物アスベスト対策などです。

限界マンションとは

建物の老朽化や居住者の高齢化の中で、空室の急増と賃貸化が進み、建物の管理が行き届かず、適切な保守や必要な建て替えが行えないマンション。

限界団地とは

居住者の半数を高齢者が占める団地。建物の老朽化や空室増加も進む。地域コミュニティの維持が難しくなったり、買い物その他、居住者の日常生活に様々な不便が生じます。

市営住宅に関する質疑を補足します。本市では直接建設型約2万7千戸、借上げ型約4千戸の市営住宅を保有しています。直接建設型のうち約1万1千戸が、昭和50年以前に建設されました。今後こうした市営住宅の建て替えの課題に、直面することとなります。単純に考えると、建て替えていくには、約2千2百億円の費用が掛かかると推計されています。財政が厳しい中で、この財源をどう確保するか、大変頭の痛い問題です。

市営住宅の供給は、旧来のような直接建設方式が中心でなければいけないわけではありませんが、ユニバーサルデザインなど、時代の要請する点は、十分考慮していくべきです。資金調達を含め、建設手法、提供される住宅の態様などは旧来の発想にとらわれることなく、課題解決にあたるべきと考えています。その第一歩として、早急に市内の市営住宅の現状を分析し、建て替えなどの今後の考えをまとめた『再生計画白書』のようなものを策定すべきと考えています。この点について、当局から平成30年度中までの策定の意思が表明されました。

なお市営住宅の再生支援に関連させて、少子高齢化社会に合った、戸建て住宅を含めた総合的な本市住宅行政の展開を当局に求めました。

当局からの市営住宅の再生支援に関する回答内容

1. 一定期間に集中する財政負担を軽減するために建て替え時期の平準化。
2. 財源確保のために
 - ① 建物の高度化、集約化により生み出した余剰地の売却や貸付。
 - ② 民間活力の活用、国庫補助金の確保。
3. 平成30年度内をめどに再生計画を取りまとめ。

TOPIC 2 医療局・病院経営本部予算審査に立つ。



〔平成 29 年 3 月 9 日医療局・病院経営本部予算審査にて〕

本市の医療政策を立案し、疾病対策や在宅医療施策、救急・災害医療を所管する医療局、並びに本市が設置する市民病院（保土ヶ谷区）を含めた市立 3 病院の事業を所管する病院経営本部に対して、予算審査に立ちました。この審査の場で、本市の医療行政を充実させ、病院事業をより良いものにしていくため、私の考えを交え、7 つの事項について当局に問いかけをしました。

その一つが、災害時医療についてです。建築局審査で災害拠点病院の中に耐震性に不安が残る施設があるので早期改善対応を求めたことは、TOPIC 1 で述べた通りですが、

医療局に対しても災害拠点病院を取り上げ、耐震性に問題を抱える当該施設の災害拠点病院としての機能維持をいかに図るか、仮に機能を喪失した場合のバックアップの考えを問いただしました。

更には、当該の拠点病院だけでなく耐震性が備わっている他の拠点病院でも、地震の規模によっては、機能が失われることがありますので、そうした事態への対応の考えをいただきました。

災害時医療に関しては、拠点病院の機能維持の課題以外にも、発災時に配慮を必要とする疾患のある市民への対応の考えを確認しました。例えば透析医療患者や在宅酸素療法患者、中心静脈栄養療法患者の医療確保です。

透析医療で言えば、市内に約 8 千人の腎機能障害を抱える方がおられますが、万一発災によって医療の提供が中断すれば、命に関わります。なんとしても大規模災害時でも、医療を確保しなければいけません。それとできるだけ市内で医療が提供できる体制を確保する必要があります。透析医療に関する私の問いかけに対して、当局からは、①現在、市内の災害拠点病院を中心とした近隣の透析医療機関とのネットワークを構築し、かかりつけ医療機関が被災をしてもネットワークの中の他の医療機関で透析治療を受けることができる体制づくりを進めていること、②ネットワークの中での治療が不可能になった場合には、市災害対策本部内に設置する医療調整チームが隣接ネットワークでの対応を調整すること、③それも不可能な場合には県や国と協議するなど、広域的な対応を想定しているとの回答がありました。

今回の審査で例として取り上げた疾患以外の、大規模発災時に医療の確保をどうはかるか、平常時から考えていかなければいけない疾患への対応計画。そしてなによりも本市防災計画で想定している元禄型関東地震が起こった際に見込まれる 2 万人を超える負傷者への医療確保。こうした課題に平日頃より議員として向き合い、当局の対応計画や取り組みをチェックし、改善すべきことは改善させ、市民の安心と命の確保に少しでもつながるよう市の施策を向上させていきます！

医療局・病院経営本部に対して、災害時医療の確保の他に、①市民病院再整備、②脳卒中・神経脊椎センターの経営改善、③医療の国際化推進事業、④医療ビッグデータ活用、⑤横浜臨床研究ネットワーク支援事業、⑥団塊の世代が後期高齢者層となる 2025 年に向けた医療機能の確保について質疑を行いました。これらの質疑の詳細は、市会 HP の市会インターネット中継〈録画〉でご覧頂けます。

【当レポート発行者プロフィール】

横浜市議員〔都筑区選出〕 望月高德（もちづきこうとく）。静岡県出身。本年4月で横浜市在住29年目。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。（株）野村総合研究所社員、学習塾経営、専門学校講師などを経て、平成23年4月より現職〔2期目〕。

政治を目指す原点は、学生時代の新聞奨学生体験。政治信条は、公正・共生・寛容。



“皆さんの声”は、横浜市議員 望月高德 が承ります！

TEL&FAX:045-532-9089

Email: info@khotoku.net

【望月高德政務活動事務所の所在地】

〒224-0003 都筑区中川中央1-24-17-2F

〔市営地下鉄センター北駅1番口よりノースポート側すぐ〕

“皆さんの声”を気軽にお寄せ下さい。

ご記入日／平成29年 月 日

横浜市政や区政、あるいは政治全般について、お気付きの点やご意見があれば教えてください。

ご記入者のご氏名〔 ^{ふりがな} 〕年齢〔 歳〕 性別〔男・女〕

ご記入者のご住所〔〒 - 〕

ご連絡先のお電話番号〔 - 〕

Email〔 @ 〕

※ 以上の項目は、すべて任意。可能な項目のみご記入をお願い致します。

※ お寄せ頂いた個人情報は、適正に管理します。

※ ご連絡先のご記入のある方には、望月から回答のためご連絡を差し上げたり、市政報告会などのご案内をする場合があります。